

常盤北小 コミュニティ・スクールだより

第1号 令和4年7月1日 さいたま市立常盤北小学校

～コミュニティ・スクールがスタートしました～

さいたま市では、今年度より全ての市立学校に「学校運営協議会」を設置して、地域住民や保護者が学校運営に直接参画し、連携・協働して子どもたちの健やかな成長を支えていく「コミュニティ・スクール」が完全実施となりました。本校につきましても、令和4年5月18日（水）に第1回学校運営協議会を常盤中学校区の3校合同で開催し、「学校運営に関する基本的な方針」を承認していただきました。また、学校と地域が抱える様々な課題を解決していくための「熟議」を行いました。

<第1回学校運営協議会の内容>



<各校校長より経営計画等を説明>

① 学校運営協議会委員の委嘱

本校では、志水委員長を始めとする15名の委員に委嘱状が交付され、各委員から自己紹介をしていただきました。

② 「学校運営に関する基本的な方針」の承認

各校校長から「教育課程の編成」「学校経営計画」「組織」「予算」「施設・設備」等の経営方針についての説明があり、全て承認されました。

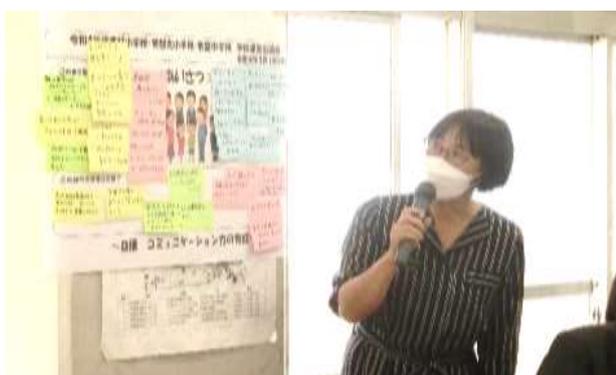


<グループに分かれての熟議>

③ 今後の具体的な取り組みに関する「熟議」

前年度の準備委員会の協議を踏まえ、3校を含む地域全体での今後の具体的な取り組みについて、6グループに分かれて「熟議」を行いました。

子どもたちの現状と課題を整理し、その解決に向けて「学校」「家庭」「地域」が連携することでどのような取り組みが出来るのか、様々な意見やアイデアが交わされました。



<各グループ協議の報告と共有化>

④ グループ協議の共有と今後の取り組み

その後、各グループで議論されたことを発表し共有化した上で、全体協議を行いました。

「熟議」では、子どもたちを含む地域全体が、「あいさつ」を通じて人と人との結びつきを深めていくことが大切との意見が多く出され、今後、地域と各学校での取り組みを具体的に進めていくことが確認されました。

あいさつ

さいたま市立常盤北小学校

校長 石崎 敬吾

平素より、本校の子どもたちを温かく見守り、そして力強く支えてくださっております皆様に対して、改めて感謝申し上げます。

さて、5月18日（水）に常盤中学校、常盤小学校、常盤北小学校の第1回学校運営協議会を合同で開催いたしました。学校経営方針等の承認をいただき、いよいよ、本校もコミュニティ・スクールとしての歩みが始まりました。

常盤地区（常盤中学校、常盤小学校、常盤北小学校）では、学校・家庭・地域が一体となり、「コミュニケーション力」を身に付けた人材を育成するという目標を立て、その第一歩として「あいさつができる子」を目指して取り組んでいくこととなっております。このことは、本校の子どもたちに関わる全ての大人で目標を共有することが不可欠だと思っております。子どもに関わる全ての人々が、同じ方向を目指して動き始めれば、きっと大きな力になると信じています。

学校運営協議会委員長の志水 正様をはじめとする委員の皆様におかれましては、今後も御指導を賜りますとともに本校のさらなる発展のため、御尽力賜りますようお願い申し上げます。

<常盤北小学校の学校運営協議会委員>

委員長 志水 正 様（北浦和5丁目自治会長、青少年育成常盤地区会会長）

委員 河田 和夫 様（常盤北小学校施設開放委員会管理指導員）、柴田 房雄 様（元小学校長）

鶴田 照恵 様（チャレンジスクールスタッフ）、五味 滋子 様（民生委員、元PTA会長）

齋藤 千絵 様（北浦和・針ヶ谷地区主任児童委員）、藤澤 千晴 様（常盤北保育園園長）

坂井 顕子 様（常盤北児童クラブ施設長）、荒田 貴子 様（常盤北小学校PTA会長）

鈴木末紀子 様（常盤北小学校PTA副会長）、川井 秀子 様（常盤北小学校PTA副会長）

夫 慧子 様（常盤北小学校PTA副会長）、

石崎 敬吾（常盤北小学校校長）、遅澤麻奈美（教頭）、磯田 勝（地域コーディネーター）

<今後の予定>

第2回学校運営協議会は11月に学校別に開催予定です。今後、各学校では、学校運営協議会での熟議を踏まえて、「スクールサポートネットワーク（SSN）」を整備し、その実現を図っていくこととなります。

SSNは、保護者や市民、地域諸団体、公共施設、スポーツ・文化団体、企業、NPO等の緩やかな連携・支援によって地域全体で子どもたちをサポートし、学習支援や体験学習、防犯活動、環境整備等のご協力を得ながら、子どもたちが地域の中で健やかに育まれる環境を創っていくためのネットワークです。「あいさつ運動の推進」を含め、皆さまの参画とご協力をお願いいたします。



（さいたま市役所ホームページより掲載）